

HEALTH CARE

The Newsletter of the Japan Health Care Dental Association

vol.12 no.4

(年間6回刊行・通巻069号)



日本ヘルスケア歯科研究会

事務局 東京都文京区関口 1-45-15-104

☎ 03-5227-3716

Fax. 03-3260-4906

URL <http://www.healthcare.gr.jp>

E-mail : center@healthcare.gr.jp

編集代表 杉山精一

編集制作 有限会社 秋 編集事務所

歯科衛生士の仕事の素晴らしさを中学生に広める p.1	ヘルスケア歯科医院ちょっと拝見します 11 p.10
歯科衛生士育成プログラム第4期生募集 ... p.2	データ入力、ここがポイント ... p.12
報告 認証ミーティング特別講演 ... p.3	読後感 ... p.14
ウイステリア Pro とアポイント管理職 II ... p.4	コアメンバー会議報告 ... p.16
カードゲーム「むし歯予防カルテット」 ... p.7	プロジェクト委員会名簿 ... p.17
ヘルスケア歯科医院ちょっと拝見します 10. p.8	ヘルスケアミーティング 2009 ... p.18-20
フォーラム ... p.9	事務局から ... p.3, 15

個人では解決できない問題に取り組むために たとえば「歯科衛生士の仕事の素晴らしさを 中学生に広める」

斉藤 仁 (コアメンバー・札幌市)

7月12日に東京飯田橋において「第7回健康を守り育てる診療所」認証ミーティングが行われました。今回は4診療所が認証され、これで認証診療所は34医院になりました。認証事業がスタートしたのが2003年ですから、6年かかって34件の認証診療所ができたこととなります。世間一般では歯科医院が過剰と言われていますが、患者さんが安心して自分の口腔の健康を任せられる歯科診療所はまだ不足していると言えます。認証を受けられた医院はおそらくどこも同じように感じているかと思いますが、ステップアップガイドに沿って診療所の総合力を高める努力を続けていけば、医院は確実にレベルアップし、患者さんから信頼される歯科医院になります。必ず「患者さんが減って困った」という話とは無縁の歯科医院になります。にもかかわらず、6年で34件しか認証診療所が生まれぬには、院長の努力不足だけではない、個人で解決できないさまざまな問題があるからだと思います。その個人では解決できない問題を解決しようと努力するのが我々研究会の使命です。

例えば「健康を守り育てる診療所」を構築していくのを阻む大きな問題の一つとして歯科衛生士の不足があります。「衛生士を募集しても全然集まらない」「周りに衛生士学校がない」など歯科衛生士の確保ができずに困っている医院は、私の知りうる範囲でも少なくありません。現状でも必要な歯科衛生士の確保が難しいのに、衛生士学校の入学志望者数は激減しています。

このままでは将来的に歯科衛生士の不足がつづき、我々も、認証どころか医院経営すら危うい状態に追い込まれる可能性があります。たとえば、このような個人では解決できない問題について、研究会として何らかのアクションを起こさなくてはなりません。

そこで考えついたのが「中学生に歯科衛生士という職業をもっと知ってもらおう」というプロジェクトです。歯科衛生士が魅力ある職業であるということはほとんどの子供は知りません。特に自分の将来の職業について現実的に考えるようになる中学生に対して、歯科衛生士の仕事内容、魅力、やりがいなどを紹介できる何らかの媒体(DVD、パンフレットなど)を作製して、それを活用すれば、歯科衛生士という職業が認知され、将来の成りたい職業の選択肢に入ってくるのではないかと考えました。しかしこのような問題解決の

研究会入会金	歯科医師	5,000円
	その他	3,000円
研究会年会費	歯科医師	12,000円
	その他	6,000円
郵便振替口座	00190-7-407895	
口座名義	日本ヘルスケア歯科研究会	
銀行振込口座	三菱東京UFJ 江戸川橋支店	
	普	0931013
口座名義	日本ヘルスケア歯科研究会	

重要なお案内

●以下の同封物をご確認ください

- HyG-Times 3部
- 2009年市販小児歯磨剤調査報告
- 市販子ども用歯みがき剤ガイド 3部
- 第3回ハーフ&ハーフセミナー開催案内
- 会員用IDとパスワード変更のお知らせ
- ライトハンドルカバー サンプル 1部

催しものご案内

- ① 歯科衛生士育成検定コース
日時：2009年10月11・12日
会場：河野歯科医院 (小平市)
- ② 歯科衛生士育成基礎コース
日時：2009年11月1・2日
会場：河野歯科医院 (小平市)
- ③ ヘルスケアミーティング2009
日時：2009年11月22・23日
会場：川口市民ホール フレンジア
▷詳細 p.18-20
- ④ 第3回ハーフ&ハーフセミナー
日時：2009年12月20日
会場：川口市民ホール フレンジア

糸口となるアイデアが生まれても、それを実行に移すパワーが我々になければ絵に描いた餅になってしまいます。「個人で解決できない問題を研究会で」と言っても、少ないコアメンバーだけで解決できるような問題ではありません。研究会の会員一人一人の力を集結しなければなりません。会員の皆さん一人一人が自分達の問題と捉え、自分達で解決しようとする姿勢がなければなりません。先日のオピニオンメンバー会議の場では、オピニオンメンバーの協力で、いくつかのプロジェクトを立ち上げる提案をしました。まずはコアメンバー、オピニオンメンバーがリーダーシップをとって、いくつかのプロジェクトを実行に移し、その輪を広げて行きたいと考えています。

具体的に立ち上がったプロジェクトは次のとおり。

- A：日本学校歯科医会配布冊子について検討するプロジェクト委員会
- B：ニュースレター編集に意見を言う 「ニュースレター検討会」

- C：ウイステリアを広めるためのDVDの作成を薦める会
- D：歯科衛生士の仕事の素晴らしさを中学生に広める広報資料作成委員会
- E：ヘルスケア診療を紹介するDVDビデオ作成プロジェクト委員会
- F：企画頒布品検討委員会（こどもの健康手帳とともに院内感染予防資料の製作）
- G：デンタルX（の改善をヘルスケア診療の観点から求める）検討会

いずれのプロジェクトも具体的で現実的なものばかりで、実現すれば、委員会は解散し、また必要な新たなプロジェクトを立ち上げる予定です。オピニオンメンバーが中心となって進めていきますが、多くの一般会員の参加が必要です。あなたもその中の一人になってみませんか？



第4期生(2009年度)募集のご案内

2009年度の歯科衛生士育成プログラムを受付しています。今年度は会場の都合で定員を14名に絞りましたので、基礎コースはすでに満席となりました。ご了承ください。(キャンセル待ちを希望される方は事務局までお問い合わせください)。検定コースは募集中です。

受講ご希望の方は、事務局までファックスにてお申し込みください。会員ホームページ、携帯サイトからも、申し込み可能です。

育成基礎コース **満席**

- 日程： 1 / 2日目 2009年 11月 1日(日), 2日(月)
- 3 / 4日目 2010年 1月 10日(日), 11日(月・祝)
- 5 / 6日目 2010年 3月 21日(日), 22日(月・祝)
- 受講費： 150,000円 / 歯科衛生士1名
- 会場： 河野歯科医院 (東京都小平市)
- 募集定員： 14名 (先着順)

検定コース

- 日程： 2009年 10月 11日(日), 12日(月・祝)
- 受講費： 30,000円 / 歯科衛生士1名
- 院長オブザーバー参加 10,000円
- 会場： 河野歯科医院 (東京都小平市)
- 募集定員： 14名 (オブザーバーは定員外で参加)



認証ミーティング併催特別講演

歯科医療は何処へ向かうのか 高添一郎先生（東京歯科大学名誉教授 野口英世記念会会長）

ドイツの歯科医療 下野正基先生（東京歯科大学教授・病理学）

杉山精一（コアメンバー・八千代市）

「歯科医療は何処へ向かうのか」という大きな問題提起のタイトルをなぜ微生物学の大教授が話すのか、学生時代に講義を受けて以来約30年ぶりの高添名誉教授がどのような話をしてくださるのか、すこしばかり不安な思いで会場に向かったのが正直なところでした。しかし、講演がはじまるとそのような不安は、瞬間に消え去りました。医学的な話題と歴史的考察を交え、歯科医学の発展、そして国際的な会議の場で何が論争になったのか、その場に居たものしか語り得ない経験をいくつも織り交ぜながらの講演に、引きつけられていきました。

1958年（私が生まれた年）スウェーデンの国費留学生第一号としての経験、フッ化物の実用化の初期段階で、まだミュータンス菌は未知の時代、日本が貧しい時代、そのころから医科、歯科、そして科学の発展のまっただ中を世界的な学者として国際的な舞台を経験した人だからこそ、あのような話しができたのだと思います。箇条書きで書かれたスライドの文章一行一行の間には、大変な苦労があったのだと思います。

配布資料もなく、詳しく講演内容を紹介することはできませんが、高添先生の最後のメッセージをはっきり憶えています。それは「開業医が研究者を育てるんだ」という言葉でした。「開業医よ、もっと勉強しろ、そして大学研究者とともに歯科医療の発展に寄与するんだ」というように私には思えました。

思いおこせば歯科とフッ化物についての発見者 F.S.McKay は、地元の奇妙な歯の状態を記録して G.V.Black に書いた手紙から1916年「Mottled teeth」という論文を Dental Cosmos (JADAの前身の雑誌) に書いています。

「誰かが」ではなく「自ら」ということを認識させられたすばらしい講演でした。

続いての下野教授の講演も、なぜ著名な病理の教授がドイツの歯科医療について、という疑問がありましたが、FDIの委員となり、そこでの出会いからドイツの歯科医療について興味をもたれて本の翻訳となった経緯を話されました。

私たちは、海外の医療制度について知る機会がほとんどありません。また、時折はいつてくる情報も断片的な事柄だったり、その国のいいところだけの偏った情報だったり、正確なことはわからないというのが現実です。そのような点でこの本はよく書かれていて、歴史的な経緯もわかります。国の医療保険制度、広くは社会保障制度ですが、それぞれその国の歴史的な経緯のなかで作られてきたものですので、そのような視野で理解していくことが必要だと感じました。

この二つの講演は、認証ミーティングの併催講演というにはもったいない、素晴らしい講演会でした。来年も今年と同じように認証ミーティングにあわせて歯科についての視野を広められるような講演を企画したいと思っています。

○この講演のきっかけとなった翻訳書

ドイツの歯科医療システム

下野正基 訳

Burkhard Tiemann/David Klingenberg/

Michael Weber 著

(財)口腔保健協会 刊



● 会員登録内容の変更について

住所、電話番号、ファックス番号、e-mail アドレス、準会員等の追加・変更がありましたら、事務局までファックスもしくは e-mail でお知らせください。

Fax: 03-3260-4906

e-mail: center@healthcare.gr.jp

事務局は月曜日から金曜日までの午前9時30分から午後5時30分までスタッフが常駐しています。お電話は時間内をお願いします

◆新入会法人会員◆

株式会社グローバルサイエンス

現在の会員の構成(8月20日現在)		会員合計 4,063名	
正会員		準会員	
歯科医師	1,116名	歯科衛生士	2,439名
歯科衛生士	75名	歯科技工士	71名
歯科技工士	1名	その他	356名
その他	5名	準会員計	2,866名
法人会員	28社		
正会員計	1,197名	認定歯科衛生士	43名

※前号より会員数が減っていますが、今号より2009年度未入金者は除外しています。

ウイステリアProとアポイント管理職を使ってみよう！Ⅱ

(その4) 藤木 省三 (神戸市・大西歯科・IT 部会)

今日は7月25日ですが、まだ梅雨明けは遠そうな様子です。例年なら梅雨明けをどこかで聞いたかのように一斉に蝉が鳴き始めるのですが、今年は少しずつまばらに蝉が鳴き始めていて何か異様な感じがします。抜けるような夏空を早くみたいものです (と言いながら、休みの日は暑さでバテてしまっているのですが)。

-----基本的な注意-----

- *ウイステリアなどのファイルの名前を変えないでください
- *バックアップは毎日必ずとりましょう

バックアップが必要なファイルおよびフォルダ

「ウイステリア Photo40/31/30」
「アポイント管理職 2/21」・「PerioAssistant4/3/2」
「抜歯履歴 2」・「来院履歴 2」・「唾液量」・「処置履歴」
「NewFile フォルダ」(ウイステリアに取り込んだ画像の保存フォルダ)

今日のテーマ「メンテナンス来院率を調べる」

以前会員の久保さんから「メンテナンスに来院している患者の割合をどのようにして調べますか？」と質問をいただいていた。確かに、メンテナンスにどのくらいの方が応じているのか、とても興味がありますね。でも、この問題はなかなか奥が深いのです。

長らくメンテナンスを続けていると、「忘れてしまった」「調子がよかったから」というだけでなく「仕事が忙しくて来られなかった」「骨折して入院していた」「高齢の親が体調を崩していたので看病に行っていた」などのようにメンテナンスに来たくても来られない様々な理由があることがわかります。なかには、「十数年飼っていた愛犬の介護で来ることができなかった」という方もおられました。私はこの話をスタッフのサブカルテから知ったときに、その方の愛犬に対する強い思いを感じました。それぞれの方の大切に思う気持ちを尊重してこそ、長いお付き合いができるのだと思いました。

話を戻しますが、その「メンテナンスの遅れ」をどう考えるかが難しいのです。1ヵ月でも遅れれば「メンテナンスに来なかった」とするのでしょうか？ 私は、もっと幅をもたせるべきではないかと考えています。今回は、幅を持たせたメンテナンス率の計算方法を考えました。少し複雑ですが、ウイステリアを使っていればできるのです。

<メンテナンスに関する入力>

メンテナンスに来院されたら、「最終来院日」フィールドの右側にある「今日」ボタンをクリックして日付を入力しましょう。そして、リコール間隔が決まれば「リコール期間」

フィールドに入力します。「最終来院日」と「リコール期間」が入力されると自動的に次回予定の年と月が計算されます。今回は、これらのフィールドの値を使って調べます。

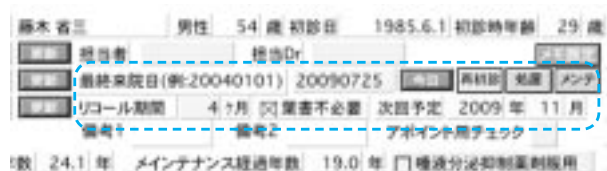


図1 最終来院日とリコール期間、次回予定

<メンテナンス来院率の計算方法>

メンテナンス来院率は次のようにして計算します。

(実際にメンテナンスに来院した人数) / (メンテナンス予定者数) × 100 (%)

実際にメンテナンスに来院した人数を直接記録するのは難しいため、予定していた人から来られなかった人数を引き算して計算します。つまり、

(メンテナンス予定人数 - 来院しなかった人数) / (メンテナンス予定者数) × 100 (%)

と書くことができます。

メンテナンス予定人数を正確に調べるためには、前の月の診療が終わってから、その月の診療が始まるまでに調べなければなりません。例えば、2009年8月のメンテナンス予定人数を調べるためには、7月31日の診療が終わって、8月1日の診療が始まるまでに調べます。

<メンテナンス予定者を調べる>

歯周病画面で「検索」ボタンをクリックして検索状態にして、次回予定の年と月のフィールドに調べたい年月を入力し

て検索実行します (図2では2009年8月)。検索後の該当数 (図3では236) がその月のメンテナンス予定者人数です。



図2 次回予定年月を入力して検索



図3 該当数を確認

<メンテナンスに応じた人数を調べる>

計算方法のところで書いたように、メンテナンスに来られなかった人数を調べます。メンテナンスに来院すれば「最終来院日」が更新されるため、「次回予定」の年と月も同時に更新されます。つまり、「次回予定」が更新されていない患者 = メンテナンスに来院していない患者ということになります。

例えば、2009年8月メンテナンス予定の人で8月に来られなかった人が何人が計算しようと思うと、8月の診療が終わって9月の診療が始まるまでの間に、次回予定のフィールドで2009年8月の患者を検索してその該当数を調べればよいのです。

ここでの例のように、2009年8月予定の患者の場合、9月には1ヵ月来院していない人、10月には2ヵ月来院していない人というように人数が計算されるので、半年経っても来ていない人を知るためには半年後にならないとわかりません。

面倒だなあ、と思われるかもしれませんがね。でも、こうやって記録しておけば自分たちの診療室の真の結果を残すことができ、毎月わくわくしながら結果を知ることができるようになります。

<メンテナンス来院率の計算>

図4に例として2009年1月から始めた場合のサンプル表を示しておきます。このような表を作って毎月のメンテナンス予定者数と実際に来院した人数を埋めてい

けば結果を知ることができます。

サンプルを見ればわかるように、1月には右端の1月の予定人数だけが記録されています。2月には、右端には2月の予定人数、そして右から二つ目には1月予定のうち165人が来院され来院率が75%であることがわかります。7月には、左端に1月予定の患者の半年後の結果が記録されていて、合計190人が来院し、来院率は86.4%になっています。

私の診療室では、メンテナンス予定日から半年以内に来院された方は「メンテナンスに来院した」ことにしています。初めに書いたように患者さんは様々な理由で「来たくても来られない」ことがあることを知りましたし、私たちは10年以上おつきあいするつもりでいますので半年はそれほど長いとは思わないというのも理由の一つかもしれません。ただ、それはそれぞれの診療室でルールを決めればよいと思います。基準が違って、大切なのは記録をきちんと残して評価することです。

<計算用テンプレートファイル>

表を手書きで作るのは大変なので、計算用のテンプレートを作ってみました (図5)。サンプルの表では実際に来院した人数を書き入れるようにしていますが、計算用テンプレートでは手間を少しでも省けるようにメンテナンスに来院していない人数を入力するようにしています。

このファイルに興味がある方は藤本 (byd00721@nifty.ne.jp) までご連絡ください。FileMakerPro5.5-6と7以上それぞれのファイルを用意しています。

<こんなこともできるかも>

このように正確にメンテナンス率を計算できるようになれば、様々な応用が考えられます。例えばどのような年齢層

Table with columns for dates (e.g., 2009/1/1, 2009/2/1) and patient counts, showing maintenance attendance rates over time.

図4 サンプル表

図 5

でのメンテナンス来院率が低いのかを知ることができます。「レコード」→「検索条件を変更...」で年齢別に調べられます。調べることで診療室の状況を把握して対応することができますでしょう。

歯科衛生士の方は、自分の担当患者のメンテナンス率を調べることも可能になります。他にももっと使い方があられるかもしれません。

<一日でそんなことできない！ という方のために>

これを実行しようとする最低 30 分、慣れていないともっとかかるかもしれませんね。それを一晩でしなければならぬ！ と思うだけで嫌になりそうです。そこで、バックアップのコツを紹介するとともにもう少し余裕を持って計算す

る方法を伝授しましょう。

みなさんは、ウイステリアをサーバーマシン以外のハードディスクにきちんとバックアップしていますか？ 私も何度か経験しましたが、ハードディスクは必ず（!!!）壊れます。ですから必ずバックアップを取るようにしてください。

そこでバックアップのコツですが、バックアップ用のハードディスクに図 6 のように「月曜日」「火曜日」...「土曜日」のフォルダを作ってその日の曜日のフォルダにバックアップを取るようにします。このようにすると、一週間分のバックアップが取れるため万が一ファイルが壊れた場合でも前のデータに戻ることができます。誤ってデータを消してしまった場合でも救えることがあります。

そして、このようなバックアップの取り方をしていれば、月末の日に全ての計算ができなくてもバックアップのファイルを用いて別のコンピュータでゆっくりと計算することができます。

折角入力したデータなので皆さんも試してみてください。

今回は、1 年を通してのメンテナンス状況について調べてみます。



図 6 曜日別のバックアップフォルダを作成しておく

ユーザーの声

普段からウイステリアを使っている会員の声を拾ってみました

兵庫県 M さん

1. ウイステリアを使っていて便利だと思ったこと

「アポイント管理職」との連動です。当初 口腔内写真管理ソフトとしてだけ使っていましたが、当日のアポイント画面から簡単に口腔内写真が確認できるので便利です。

検索や集計に関してが、便利さの真骨頂だと感じていますが、そのための日々の入力ができていません...

2. この半年以内でデータを検索したり集計したこと

初診時のデータだけでも入力して、DO プロジェクト調査 1 に参加しています。

集計された自院のデータを見るのは楽しみです。

3. (今後のために) 将来ウイステリアに希望すること

・ファイルメーカーのバージョンアップのスピードが早

くて、クライアントを 1 台増やすだけでも 旧バージョンの入手が全クライアント分のアップグレードか迷います (互換性があるとかないとか...?)。何らかの指針が欲しいです。

・もっと身近に見る・触れる・教えてもらえる機会が欲しいです。昨年の福岡でのセミナーはうらやましかったです。

・導入費用が少なく済むのはたいへんありがたいのですが、PC への知識などがそれなりにユーザーに要求されます。導入時のもっと詳しいマニュアル、導入後の (スタッフ用の) より簡単なマニュアルがあってもいいかも。

・患者さんに「見せる」機能がどんどん増えるのはいいですね。(ウイステリア 4 へのバージョンアップも検討中です。)

遊びの中で、自然に歯科情報を学習する
 歯科医師、歯科衛生士必携の「コミュニケーションツール」

カードゲーム「むし歯予防カルテット」

近藤明德（こんどう 歯科医院・神戸市）



私たち歯科専門家が伝えた！ と思っている情報の、はたして何割が診療室の患者さんに、小学校の健康教育で小学生に、市民健康講座で一般市民に正確に伝わっていると思いますか？

例えば「ぶくぶくうがい」。私たちは何気なく使いますが、歯科専門家以外に「ぶくぶくうがい」という言葉はふだん使いません。私たち歯科専門家には聞きなれた言葉でも専門家以外の感覚では専門用語、よくわからない言葉って多いようです。

「この前説明したとき、わかったっていう感じでうなずいてたじゃないですか。なのに、なんで今さら知らないって言うの？」こんな苦い経験をされた歯科医師、歯科衛生士の方も多いと思います。

昨年、コアメンバーの藤木省三さん、杉山精一さん、と私が福岡の事務所を訪問し、藤木さん、杉山さんはNPO法人ウェルビーイングに、ウェルビーイングの中村譲治さんは日本ヘルスケア歯科研究会にそれぞれ入会し、「国交樹立(?)」し

たNPO法人ウェルビーイングから今までにない「患者教育用ツール、コミュニケーションツール」が発売されたのでご紹介いたします。

「遊びの中で、自然に歯科情報を学習する」をコンセプトに作られたツールで、「かるた+トランプ+歯科情報カード」といったところですか。9色（1色4枚）計36枚で構成されています。ゲームは8色（32枚）または9色（36枚）を用い、同じ色4枚を集めるゲームです。勝敗は「1組でも多く4枚組（カルテットといいます）を完成させた人が勝ち」。各カードには歯科情報が書いてあり、ゲームのあとでカードを持っている人が読み上げます。遊びのなかで歯科情報を学習できる仕組みです。

色々な場面で、色々な使い方の工夫が出来るツールです。「あそびかた例」は商品添付の説明書にも書いてあります。

含まれている歯科情報は

青色のカード：「歯と歯ぐき」骨・神経・象牙質・エナメル質

灰色のカード：「むし歯の原因」ミュータンス菌・砂糖・プラーク・歯の質

茶色のカード：「できやすいところ」歯ぐき・間・溝・6歳臼歯

紫色のカード：「むし歯の症状」溶ける・白・痛い・かめない

緑色のカード：「生活習慣」おやつ・飲み物・歯磨き・定期健診

ピンクのカード：「予防法」フッ素・糸ようじ・シーラント・クリーニング

空色のカード：「フッ素」スプレー・うがい・歯磨き剤・塗布

オレンジのカード：「歯磨き方法」しゃかしゃか磨き・つつこみ磨き・仕上げ磨き・歯ぐき磨き

赤色のカード：「歯科情報」1.7本・水道水・だ液・歯肉炎

合計9色各4項目の36項目

小学校や子育てサークルで参加型歯科健康教育をするときのツールとして最適です。ぜひ、一度手にとってご覧ください。小児歯科の先生や子どもの多い歯科診療所なら、待合室、キッズコーナーに1組置くのも良いでしょう。だって、子どもたちはポ○モンカードのようなカードゲームが大好きです。大人にはとても覚えられないカードの内容、例えばこのモンスターは属性が水で、得意な技は何なに、攻撃力がいくつで、防御力がいくつ、なんてすぐ覚えてしまいます。むし歯予防カルテットのカードの内容だって、何回か診療に来ているうちに覚えるに違いありません。「先生、青のカードの“神経”って痛い奴やろ」突然子どもの患者さんからこう尋ねられたら、うれしいじゃありませんか。

NPO法人ウェルビーイングはこのほかにもいろいろなツールを開発、販売しています。私は以前から診療室や講演で使えるパワーポイント集「Smile for Kids」を購入して活用して

いましたが、昨年、講演用のパワーポイント集「Make a Smile 講演用1：むし歯予防」「Make a Smile 2：歯周病予防」も発売されたので早速購入しました。これも、健康セミナーなどで講師をされる方に大変お勧めです。

詳しくはNPO法人ウェルビーイングのホームページ(<http://www.well-being.or.jp>)をご覧ください。ご購入・お問い合わせは、ウェルビーイング事務局 (Tel. 092-771-5712, Fax. 092-741-8037 または e-mail: jimukyoku@well-being.or.jp) にご連絡ください。



「むし歯予防カルテット」

1セット 1,050円 (WB 会員価格 945円・税込)

5セット以上購入特別価格 1セット 840円 (税込・送料別)

「Make a Smile 講演用1」「Make a Smile 講演用2」

各 10,500円 (税込・送料別)

ヘルスケア歯科医院 ちょっと拝見します

リレー連載 10

宇田川義朗（江戸川区開業 宇田川歯科医院）

ヘルスケアチームメンバーを求めて

私のオフィスは、2001年に開業した、まだまだ若い歯科医院です。開業当初からヘルスケア型診療所を目指していたので、歯科衛生士とともに歩んでまいりました。しかし院長としての未熟さゆえ、そのチーム力はお恥ずかしいものでありました。2001年から2006年までの間に9名の歯科衛生士の退職を招きました。原因は、すべて私にありましたが、今回のテーマからは少し外れますのでそこは割愛させていただきます（こちらの内容のほうが面白かったかもしれませんが）。

衛生士が退職した暗い年末を経て明けた2006年の正月、もう2度と退職者を出さない決意の下、新卒の歯科衛生士採用を計画しました。それまでは今いる患者さんをすぐ受け持ってもらおうべく、経験者採用しておりました。都内の場合求人しても応募者はほとんど来ず、やっと出会ってもこちらには採用権がない状態でした。新卒者と決めたのも、オピニオンメンバーの成田さんが書かれた「歯科衛生士 Wanted」を読んだからでした。何度か相談にのっていただいたときも成田さんは、「新卒者ですよ」と力説されていました。

まず、関東の歯科衛生士校25校に求人票を送りました。このとき心がけたのは、何百という求人票の中に埋もれてしまわないように特徴をつけることでした。学校指定の求人票以外に資料を添付したのです。パワーポイントで作った医院紹介資料12ショットと説明文、就業規則、年間休暇カレンダー、当院紹介記事などの資料を添付いたしました。この正月休みですべてが決まると考え、妻と分担して細かい作業を行ないました。学生が見てみたいと感じるレイアウト、読んでみたいと思う資料、写真、文章を心がけました。



その結果、1月中旬より学生から見学の申し込みの電話がかかりだし、2月初旬までに11名の見学者がありました。そのうち6名から面接の申し込みがありました。驚くべき結果でした。今まで、こちらには選択権がまったくなかったのに、6名の中から選べるなんて！結局2名を採用し、彼女たちは今では当院にはなくてはならないチームメンバーと成長してくれました。



就 職専門誌の方から伺ったところ、現在では私が行な
った方法は、多くの方が実践されているので同じよ
うな効果は得られないようです。新たな優秀なスタッフを採
用するのは難しい時代になってきたそうです。そこで大事な
のが、今いるスタッフとの良い関係をなるべく失わないこと
だそうです。スタッフが退職しない医院を作り上げる。その
ためには、河野正清さんがおっしゃっているような医院の労
働環境、仕事としてのやりがいを提供することが肝要だそう
です。また、出産、子育てなどで一時的に現場を離れていた
スタッフが、また戻ってこられる医院を維持し続けることも
大切だそうです。私としても嬉しかったのは、産休、育児休
暇をとっていたチーフの歯科衛生士が戻ってきてくれたこと
です。常にプラス1名の余剰人材を抱えて医院を維持するに
は、医院としての体力がしっかりとしていなくてはなりません。
現在常勤勤務医1名、常勤歯科衛生士4名、常勤受付
1名、パートのバックアップスタッフ2名のチームメンバー



で医院を運営しております。最近スタッフのがんばりに感謝
の気持ちでいっぱいになるようになりました。開業8年がた
ちましたが、やっとスタートラインに立ったところだと思い
ます。



ヘルスケア フォーラム

東京ヘルスケアグループ主催
スタッフミーティング

2009年6月28日 川口市民ホール フレンドシア



「当たり前」をできる人に

渡辺重美子 (川嶋歯科医院・国立市)

今年のスタッフミーティングのテーマ
である「ホスピタリティ」という言葉は、



私にはなじみのないものだったのですが、
講師の加賀屋さんのお話を聞いて、とて
も身近で大切な言葉なのだということが
わかりました。加賀屋さんの講演は、デ
イズニーランドという誰もが知っている
場所で仕事をする方々のあまり知られて
いない苦労や仕事に対する熱意、そして
愛情が伝わってきてとても感動しました。
当たり前のことがちゃんとできている、
というのは簡単なようですが、果たして
自分はそれができているのだろうかと思
い返してみると、ほとんどできていない

ことに気づきました。慣れてしまうこと
が一番怖いというのも本当にその通りで、
毎日同じことの繰り返しでも、患者さん
ひとりひとりにとってはそれが初めて見
ることや聞くことで、決して「同じ」で
はないんだと、そんな「当たり前」を忘
れていることを反省し、自分を見つめな
おす良い機会になりました。また、自分
だけでなく医院全体で話し合う時間を持
てたことも嬉しかったです。今までやっ
てきたこと、そしてこれから学んでいく
ひとつひとつをちゃんとやる、やり続け
る。ときどき振り返りながらでもそうし
て進んでいこうと思いました。



ヘルスケア歯科医院 ちょっと拝見します

リレー連載 11

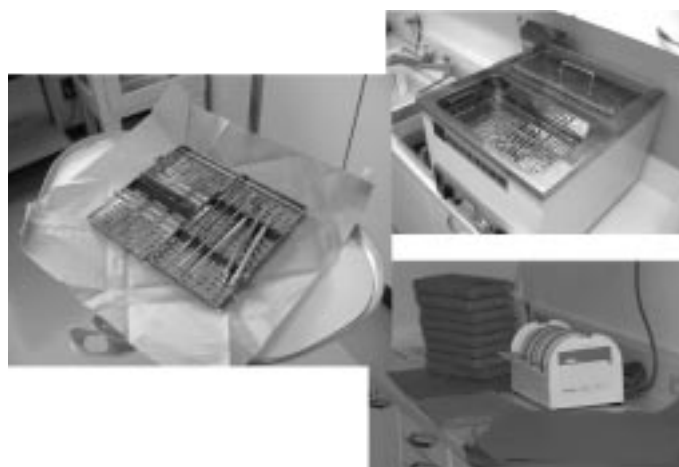
浪越建男（三豊市開業 浪越歯科医院）



三つの試み

当 医院は香川県の西部三豊市仁尾町にあります。仁尾町は人口約 7,000 人、三方を山、一方を海に囲まれ、JR 駅もない小さな町ですが、高齢者人口の多さと、子どものう蝕の少なさは町の特徴のひとつとしてよくあげられます。ちなみに町内で最も生徒数の多い仁尾小学校（生徒数 322 名）の本年度 6 年生の DMFT 指数は 0.04 となっています。これは十数年前から実施されている集団的フッ化物洗口の成果です。

開 院以来私たちは、積極的に地域歯科保健活動に参加するとともに、院内では予防を基礎にした診療体制づくりにも取り組みました。スタッフのメンバーに多少入れ替わりはあったものの、軸となる歯科衛生士たちも力を蓄え、2007 年末には医院の増改築が終了、私たちの目指す診療室づくりは次の段階に入ってきています。このような状況下今回の報告では、開院以来ずっとこだわってきた「院内感染予防のためのより効率的な滅菌・消毒のシステムづくり」、数年前から目指している「エコな診療室」、次のステップとして始めた「社会の流れに遅れない情報を」という三つの試みについて紹介したいと思います。



院内感染予防対策のシステムづくり

開 院した 1990 年代前半を振り返ってみると、大学の教育においても今ほど器具・機器の消毒滅菌について問題にする機会は少なかったように思います。例えばダービンヘッドやコントラを多数購入し、使用ごとにオートクレーブにかけて消毒・滅菌する、グローブを患者毎に取り替える、器具を使用の度に消毒・滅菌する、唾液の付着する部分にカバーをする必要があるなどと、周りの歯科医療関係者に話せば、奇異な目で見られていました。しかし今、真面目に歯科医療に取り組んでいる歯科医療従事者たちは「スタンダードプレコーション」という考え方を、当然であると受け止めているはずで

当 医院ではインプラント手術や小外科手術の際には、血液検査を実施していますが、患者本人も気付いていない感染がわかることもあり、院内の感染予防の必要性をスタッフ一同が再認識する機会も少なくありません。そのような中から、現在当医院が増改築後採用したのは「IMS システム」（ヒューフレディー社）です。

エコな診療室に

田 舎で生活する私たちが目や耳にする話を、都会生活している方々には想像できないかもしれません。自然に囲まれた診療室だからこそ、実感できる逸話をいくつか紹介しましょう。

今 年も豪雨の被害が報道されていますが、先月末まで香川県は干ばつによる水不足を心配していました。昨年も水不足、もっとも深刻だったのは開院した 1994 年です。給水制限のため診療時間は極めて変則的なものとなりました。その教訓から 80 メートルの深井戸を掘りました。医療において水は特に大切なものだということを忘れてはいけません。

数 年前医院を訪れた漁師の方が「採れる魚の種類がかわってきている」と言う言葉を初めて口にしました。今年は農家の方が「茄子やキュウリが実をつけない。チョウチョやハチが少ないから。」と診療室で話しています。診療室の周りは水田が多く、夏の夜にはカエルの鳴き声が元気に響いていたのですが、今年はカエルの数も少なく、音量も小さくなっています。何かの前兆のようで、少し不気味な感じさせます。

「気 候変動」「地球温暖化」「二酸化炭素排出量削減」などは、もうどこでも囁かれている言葉ですが、医療の現場でも将来のために「できることから始める」必要があります。冷房の設定温度を1度上げる、不必要な時間に電源を切る、材料を大切に使う、駐車場には緑を、そして太陽発電パネルを屋根に設置しました。

社会の流れに遅れない情報を

地 域の健康づくりのために予防に真剣に取り組んできた医院は、不景気の影響が出にくいのではないのでしょうか。当然そこに勤務しているスタッフの給料は毎年アップしているか、ダウンしたとしても周囲の人々ほどの大きなダウン幅には至っていないと思います。ますます厳しくなる景気の中で、これからの歯科医療のスタッフは、自分の働く診療室の状況についてもっと興味を持つ必要があります。そのためには社会で起きている出来事にも目を光らせ、自分の仕事の上に役立つ情報を把握してほしいものです。そして自分の仕事、職場を再度見つめ直してください。職業や診療室の良さが見えてくるはずですよ。

私 は随分長い間、大学歯学部と専門学校歯科衛生士の学生の学生に講義を担当しています。特にこの数年は社

会の常識や動きに全く興味を示さない学生が多くなってきたように思います。歯科衛生士の講義の始めにパソコンの準備をしながら、世の中の出来事を話題として取り上げても、全く反応がない。『メールと携帯だけの生活はイカンだろ!』とつい愚痴ってしまいます。

そ こで医院で活字を読もうと号令をかけ、始めたのが本の貸し出しと感想文。その次には順番に「私はこの本を読みました」という本を紹介する時間を医局会の最後にもうけました。しかし発表の内容に個人差が大きく出てしまいます。これに変わって最近始めたのが「この一週間の出来事、社会、経済など～新聞記事からピックアップ」です。私は医局会の最後の発表を聞くのが楽しみで、記事の取り上げ方にもそのスタッフの特徴が出ていて、これはなかなかお勧めです。

私 たちはほとんどの時間を診療室で過ごしていますが、医院スタッフである前に社会の一員であり、あるものは子どもを育てる親でもあります。本を読んだり、新聞に目を通すことは自分を高める上で絶対必要であると考えますが、いかがでしょう。



その他催しもの案内

トークイベント「医療」ってなんぞや?!

皆さんは、何のために医療をやっていますか?
医療行為をする時の判断基準は明確ですか?
患者さんとのコミュニケーションで何を心がけていますか?
医療人として、普段どんな生活を送っていますか?
・・・なんて、いろいろ難しく書きましたが、皆さんにとっての医療とは、なんでしょうか?

今回ご案内させていただきますのは、今一度、何のために「医療」をやっているのかを見つめ直し、思いっきり語り合う、「トークイベント」です☆

歯科関係者だけでなく、医科、介護福祉、など幅広い分野から保健医療従事者が集まり、前半(午前中)は、パネルディスカッション、

午後はテーマにそってフリートークと、ライブ感満載の、保健医療者会議です! あなたも、ぜひ参加して、医療者同士のつながりを深めてみませんか? 話すのが好きな人も、苦手な人も、どなたでもお気軽にお申し込みください☆

開催日: 2009年10月25日(日)

時間: 10:00~17:00

場所: THEATRE1010 講義室1

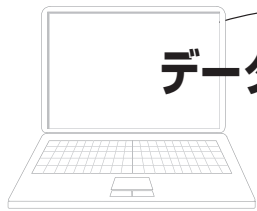
東京都足立区千住3-92

アクセス: 北千住駅(4番出口直結)徒歩0分

参加費用: 1,000円(当日徴収します)昼食はつきません

定員: 50名

申し込み先: わたなべ歯科(nabedc@happy.memail.jp)まで、件名を「医療観」とし、本文に参加者氏名、所属先、業種を明記の上、お申し込みください。



データ入力，ここがポイント！

高橋 啓（愛媛県南宇和郡開業）

愛媛県の高橋です。先日は、認証ミーティングにて多くの方にお世話になりました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。その準備に際して、福岡ワンデーセミナーのフォローアップメーリングリストにおいていろんな相談に乗っていただいた事例があります。それをご紹介します。

まずは、データ入力について

高橋自身データ入力に関しては、ニュースレター vol.8 no.3 を参考に、認証医院見学を行い、入力していたつもりでした。しかし、いざデータ集計しようとしたらできない！ なんて部分がありました。「データ入力しているつもり」が危ないと実感した瞬間でした。そこで、ウイステリアユーザーの先生方に日頃のそれぞれの医院のデータ入力手順、オリジナルの工夫についてコメントいただきました。今一度自院のデータ入力と比較してみてください。絶対に参考になるコメントばかりです。そしてそれを参考にたかはし歯科も入力手順を整理してみました。

ご意見をいただいたのは以下の診療所です。

- ・ おおくぼ歯科（堺市）
- ・ さいとう歯科室（札幌市）
- ・ たかぎ歯科医院（神戸市）
- ・ 大西歯科（神戸市）
- ・ たかはし歯科（南宇和郡）

□ おおくぼ歯科

基本画面では、基本情報のほかに、受診のたびに、来院状況を入力します。再初診か処置か迷うことがありますが、メンテに入っていない患者さんが、治療で半年ぐらい途切れていたら再初診にしています。メンテに入っている人の場合は、1年ぐらい途切れていて、治療で来院された時に再初診でしょうか（あまり、明確ではありません。以前に藤木さんが、再初診は使っていないとおっしゃっていたと思います。）

う蝕画面では、残存歯数、DMFT（最新の残存歯数は受診のたびに、最新のDMFTはメンテ受診のときに更新しています）。最終来院日は受診のたびに（最新のニュースレターを見ていて、これはメンテの受診の時のみ更新すべきかと思いました。使い方を間違えていたかも）。メンテに入っている人はリコール間隔も入力します。担当

者のところは、おおくぼ歯科では、別な使い方をされていて、リコールが葉書か、予約ありか、その他で入力しています（月初めにリコールリスト印刷に表示されるので使っています）。担当 Dr のところに担当歯科衛生士の名前を入れていますが（現在 1人しかいません）。サリパテストの結果も入力しています。処置入力、抜歯入力もそのつど必ず入力しています（BML う蝕検査と唾液分泌量は使っていません）。それから、唾液分泌抑制薬剤服用欄のチェックも服用薬の副作用の口渇の有無を調べてしています。

歯周病画面では、入力せず、Perio Assistant で全て入力します。BML 歯周病細菌検査も使用していません。

チャートの画面で、う蝕に作成画面があり、ここにコメントを入れて印刷し健康手帳の資料にしています。歯周病では総合評価のところにコメントを入れて同じく健康手帳の資料にしています。

基本情報

来院状況



基本画面

※参考 ウイステリア Pro4.0 画面（入力されているデータは架空のもので実在のものではありません）

健康手帳のところは、いろいろトライしてみたのですが使っていません。メンテごとのDHからのコメントは手書きにして、次回来院時に健康手帳に追加しています（本当は当日コメントを入れるのが良いのですが、おおくぼ歯科では、そこまでのマンパワーはまだ、ありません）。

カリオグラムは、唾液検査をした方には使っています。ここに値を入力しておき、カリオグラム本体を同時に画面上に表示させて、値を転送して使っています。

□さいとう歯科室

当院では、ウイステリアの入力は役割を分担して複数で行っています。

初診時にまず受付が基本情報を入力します。診療時の口腔内診査で残存歯数とDMFT指数を一号紙の歯式欄に（歯科医師が）記入したら、会計終了後に受付がそれを見て入力します。初診時に確実に入力されるのはここまでです。診療終了後に私が当日のカルテをチェックする際に、記入漏れが見つければ、そこで入力します。

口腔内写真は撮影の度に手の空いているスタッフ（最近ではほとんど受付）ができるだけ速やかに取り込み、その場で患者さんに説明できるようにしています。当院では写真とデンタルX線撮影が大体セットになっていて、次回歯周病精密検査とサリバテストという流れなので、写真とデンタルX線を撮影した人は、診療終了後のカルテチェックの際に、大まかな修復治療計画と、デンタルX線からわかる歯周病進行度をカルテと、衛生士カルテに記載しておきます。

□大西歯科

大西歯科では基本画面の情報は初診時に受付が入力します。当院では、「残存歯」と「DMFT」というゴム印を作っていて、初診時にカルテを作った際に1号用紙裏面に押しておきます。診療室にて実際に口腔内を診査後、残存歯数とDMFTをゴム印のところに記入します。そして、誰かがウイステリアに入力が済めば丸印をつけてわかるようにしています。毎日の来院履歴は、衛生士が診た患者は担

食事指導は、直接患者さんに見せて操作する使い方はしていません。食事調査表を記入していただいた方（サリバテストを受けていただいた方と、メンテに入った方には、全員、食事調査表記入を勧めています）にはステファンカーブに現状と改善例を作って印刷したもの（画面をWordにコピー&ペーストしてA6サイズに印刷、裏にコメントを印刷）を、健康手帳に入れていきます。

だいたい、以上がおおくぼ歯科での使い方です。

検査を行った後は、歯周病進行度とその他のデータを検査した衛生士が自分で入力します。次回来院時は検査結果の説明になりますので、それまでに基本的なデータの入力が終わっていることとなります。

それと、DMFT、残存歯の更新は、患者さんが来院する度に、機械的に「更新ボタンを受付が押す」というルールにしています。なので、変化の無い人は来院の度に更新されていきます。変化のあった人は、これも診療後のカルテチェックの際に私が入力しています。（抜歯入力も）ほとんどが変化のない人だと思いますので、このやり方が、一番労力的に負担が少なく、漏れもないかと思ってます。

ただ、当院の問題として、金曜日だけ受付が休みで、いつもと違う人間が担当するので、入力漏れが起こりやすいです。私がチェックしたり、次の日に正規の受付がチェックしたりして対応しています。

当した衛生士が、私が診た患者は歯科助手が入力します。

口腔内写真は診療後に私が取込みをします。その他に私が入力するのは抜歯入力とオリジナルのナイトプレート（ナイトガード）の入力くらいです。後は衛生士が全て入力しています。歯周治療に入らなかった患者の情報が抜けている場合が結構あって、調査1の時に検索して調べます。



う蝕画面



歯周病画面

□たかぎ歯科医院

基本情報は初診来院時に受付がすぐに入れます。口腔内を診て歯式をカルテに記入した時点で、記録者がDMFTをその余白に書き込みます。手のあいている人（DH）が以下の入力を行います。

- ・リスクファクター
- ・DMFT
- ・来院動機（これはたかぎ歯科のオリジナルかな？）
- ・プロービングをしたらその値
- ・唾液分泌抑制薬剤の服用の有無（これもオリジナル？）

これらの基本的な初診情報が入力できれば入力チェック欄を「入」にします（これもオリジナル）。毎週当番（DH）が決まっています。その日の初診の人、抜歯の人は当番がチェックし、入力できていな

ければします。基本画面の「再初診」「メンテ」と最終来院日は受付が押します。

毎日のカルテチェックのときに入力をチェックします。また、チェック欄が「入」になっている人を検索で選んで院長がチェックします。チェックがすんだものはチェック欄を「○」にします。歯周病の診断名もわたし（高木）が入力します。

うちは、最終来院日のクリックを、メンテだけでなくほんとうの最終来院日にしているのでリコール間隔と次回のリコール予定の欄を作ってそこでリコールの方の検索をします。

ときどき、チェック欄の空欄のものや「入」のままのものを検索してスタッフが入力したり、「チェックしてください〜」と持ってきてくれたりします。写真は撮ったその日にパソコンに取り込みます。受付に教えたのでごく速く進むようになりました。

□たかはし歯科

たかはし歯科では、上記のアドバイスを受けて入力システムを見直しました。まず初診時は、受付が基本画面の入力を行います。そして、問診や歯式の記入を担当したスタッフが基本検査表にDMFT、残存歯を記入します。口腔内写真の入力は、院長が行います。

その後、歯周精密検査は衛生士が行って、歯周病の入力項目全てを担当した衛生士が行います。サリバテストも担当した衛生士が入力と結果の書類作成を行います。

残存歯数とDMFTの更新は、抜歯に関しては受付が行い、修復による増加は院長が行います。また、もれをフォローするために歯周検査時には、再度確認することをルールにしています。

来院状況の更新（初診、再初診、処置、メンテ）は、DH予約枠の患者は衛生士が、Dr予約枠の患者は受付に入力してもらっています。入力のチェックは、アポイント管理職で行っています。入力した人が「済」という項目を選択してアポイント管理職を見れば、入力が終わっているかどうか確認ができるようにしています。

以上が各医院のデータ入力の工夫です。皆さんの医院でデータ入力を見直す際にとっても参考になるものと思います。院内ミーティング等でご活用ください。



読後感

中村亜也子（歯科衛生士
わたなべ歯科）

設立から10年の道のりを読みながら、さまざまなことを学ばせていただきました。

特に「ワイエイデンタルクリニック」設立までの過程はなかなか知ることのできないことでしたので、大変興味深かったです。

本を読み進めて行くうちに先生方の「地域の方々のQOLに貢献する」という目標に対する熱意の強さを感じ取ることができました。そしてその熱意がスタッフに伝わり、医院が一丸となって同じ目標を持って前進してこられたこと、結果、地域住民の方々からの支持に繋がっていることが医院の規模の拡大、患者数

の増加からも知ることができました。

なぜ多くの方から支持されているのでしょうか。私は患者さんにお渡ししている「お口の健康手帳」のように、患者さんにも目に見える形でお口の中に関心をもっていただくということにもあると思います。口腔内写真や検査の結果など自分だけの手帳を持つということは、今の状態を把握していただくだけでなく、あの歯科医院なら自分のことをわかってくれる、自分のデータがしっかり管理されているからという安心感を抱いていただけ、長く関わって行くためのつながりの元になると思います。

患者さんご自身で歯周病であったり、お口のことをすでに勉強されている方も多くなっている昨今ですので治療をすべておまかせするというよりは、現状をわ

『ヘルスケア型診療室「ワイエイ」10年のなぜ?』



編著；足本 敦
出版；デンタル
ダイヤモンド社
定価；3,400円
(税別)

かりやすい口腔内写真などで説明し、治療計画を一緒に立てていくという流れは支持する方も多いと思います。患者さんにとっては不安がかなり取り除かれ、医療者側としては満足のいく結果を得ていただくお手伝いができると思います。

患者さんに行ったアンケートが紹介されていました。「歯医者さんのイメージが変わった」、「定期検査があつて良かった」などが挙げられていました。こういったことからドクターだけでなくそこで働くスタッフの姿勢の素晴らしさを感じました。合併にあたり、スタッフが増え、「ISO」認証取得され、現在も医院をより良くするために、システム作りに取り組んで成長を続ける「ワイエィデンタルクリニック」の皆様。常に患者さんに「このクリニックに来て良かった」と生涯を通して喜んでもらえる歯科診療所を目指して前進を続けている姿勢こそ一番の支持されている理由かもしれません。スタッフ編では実際に勤務しているスタッフさんの声がかかれていました。「チームワーク」をととても大切にしていることがわかりました。「お互いの頑張っている姿をみて自分のエネルギーにしている」という言葉に胸が熱くなりました。素晴らしいチームだと感じます。責任をもって行動することもチームの一員として、また来院してくださった患者さんに満足のいく診療を提供するためにも必要不可欠なことだということも学ばせていただきました。

すべては「地域の方々のQOLに貢献する」という目標を達成するために…

私もこの本での学びを自分にいかせるように成長をしていこうと思いました。



藤木省三（神戸市開業）

足本 敦さんとの最初の出会いは、日本ヘルスケア歯科研究会第1回基礎コース（大阪）で歯周病原菌の読み方の間違いを指摘していただいたことだった。当時、修復中心の診療から健康を守り育てる歯科医療への転換という理想を掲げ第一歩を踏み出したばかりで、「そんな些細なことを問題にして」と言わんばかりの返答をしたように思う。足本さんは多分気分を害されていたのでは、と今でも思い出す。

当時を振り返ってみれば、気持ちは確かに「そんな些細なこと」だった。修復中心の歯科医療の世界を変えよう、いや歯科界を変えることができると信じていた熊谷 崇、秋元秀俊、岡 賢二、伊藤 中そして私にとっては。

その“世界を変える情熱”がそのまま形になったのが「ワイエィ」である。この本には、未だにこの日本で当たり前のように行われている修復中心、記録を残さず自己評価しない診療、経営第一主義の診療とは別世界が溢れている。その世界をのぞき見るには絶好の書だろう。

しかし、この本の本当の面白さはそれではない。真髓は、「ワイエィ」を創りあげ支えている3人の男たちとそのスタッフの、信じるものに向かってがむしゃらに立ち向かい実践する人間ドラマであ

る。

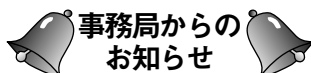
だれでも様々な人に出会いながら生きている。それは偶然であったり、時代の必然だったりする。その出会いのときに、どのような感性を持つかによって人生は変わる。

私は、歯学部を6年間の職業訓練学校と思って卒業した。学校では、訓練学校なのだから、とにかく“落ちないこと”だけを優先した。卒業後楽しい5年間の勤務医生活（その医院の技工士さんたちとよくスキーにも行って遊んだ。結婚して子供も生まれ、休みごとに遊びに行った。その頃の写真をみると、本当にのんびりとした時間が過ぎていたことがよくわかる）を終え、さて開業というときに岡 賢二、月星光博の二人に出会い、人生が変わった。もちろん、そのときに“スルー”する選択もあったのだが、1週間考えて決めた。“本物”を感じてしまったのだから、仕方がなかった。

山中 渉、足立 融、足本 敦がお互い同士、あるいは周囲の方、大学の先輩や恩師、ヘルスケアを立ち上げたメンバーと出会いその時に何を感じ、どう判断し実行していったのか、読み始めると面白くて止めることができないだろう。

同じ人に出会っても、実行しなければ人生は変わらない。この3人は他を顧みず邁進しそれが「ワイエィ」になり、スタッフにもその気持ちが伝わっている。

理想を感じながらできない理由を見つけて一歩が踏み出せない“あなた”には必読の書となるだろう。



当会ホームページの会員用IDとパスワードを変更します

2009年9月10日（木）よりホームページの会員用IDとパスワードを変更しますのでご注意ください。

また「会員診療所検索」利用時の「会員ログイン」IDとパスワードも新ID・パスワードになります。

新ID・パスワードは今回（Vol.12 no.4）のニュースレターに同封の「会員用IDとパスワード変更のお知らせ」をご確認ください。なお、2009年度会費をお振り込みいただいた会員の方へお送りしています。

日本ヘルスケア歯科研究会コアメンバー会議

コアメンバー会議報告 26

※ A～H は発言順のため、毎回変わります。

■ 6月24日 Web 会議

高木 杉山 藤木 河野 斉藤 (秋元)
(傍聴: 中川)

●秋のヘルスケアミーティング 2009 関連

【Part2 のスタッフ勤務状態アンケート】

スタッフの勤務状態、退職理由などオピニオンメンバーに協力を得て調査をする。その質問項目について。

【Part1 について】

- A 最初のパートは、どんなふうになら考えている？
- B 処置歯のやり直しの治療が多いということから問題提起
- A データを出してみると思い込みと違うことがよくあるので、自分の医院のデータを出してスタートして欲しい。
- B 初診の治療理由から、再処置がどの程度かを調べている。処置歯でも、過去の処置と離れたところなら初めてのリエスとしている。
- A 自分でルールを決めたのは、それでいい。
- C それを発表するのは有益だが、他の人に依頼するなら、厳密に。
- B 健診希望を除外し、分析したい。知覚過敏が意外に多い。
- A たとえば、無自覚の P が多ければ、患者が気がついていないペリオが多い、というところが見えてくる。

●ウイステリアランタイム版

- A 外部の人にも勧めたいので早急に対応して欲しい

●オピニオンメンバー会議に向けて

- C メーリングリストの活性化の延長線上で、オピニオンメンバーの会務への参加を促したい
- C NPO 法人化の方向性を説明しておくべきだ
- D 利点/欠点、NPO 法人化のために現在の研究会に足りないところを明確にしたい
- C オピニオンメンバーの新任、再任のルールづくり
- C 活動目的の具体性の有無で休眠か否か判断する
- C オピニオンメンバーを活動に巻き込む提案をすべきでは？
- D 具体的活動目的をこちらで設定すべきではないか
- E 個別課題を挙げてもらって、自分で関心のある課題にとりくんでもらう
- A 昨年アンケートで希望をとったが、コアの力不足で無駄になった。陳謝したい

■ 7月10日 Web 会議

高木 杉山 藤木 田中 寺田 河野
斉藤 (秋元)

●オピニオンメンバー会議に向けて

- D オピニオンメンバーは何をすべきか、と言う問いかけをすべきではないか
- E コアが何をすべきか、案を提案するのがいい
- A コアはじゃましなければいい
- F 実際は受け身の人が多い
- G 部会をつくって突っつきながら進めればテンションが上がる
- A コアが、手一杯でオピニオンの部会にまで手が廻らなかったのは問題
- C 元々、オピニオンの発足経緯が理事会暴走を防ぐ目的、会務にプロジェクトチームで参加するのがよい。
- H 賛成だが、用事ができたときだけじゃなく、オピニオンメンバーは、積極的にコアに入ってきていただくのがいい
- G 希望者を募るのではなく強制的に参加してもらおうべきだ
- H 参加の形態はともかく、コアからなだらかにオピニオンに、声掛けをする、役割を与える
- G オピニオンは、コア予備軍か コアのチェック機構か…
- F 目的がないと活動は(継続)できない
- D 臨床歯周病学会などは全員が何かの委員会に属するやり方でうまくいっている
- E 人数が多すぎるとアクティビティが落ちる
- D コア 2 人プラスオピニオン 5 人くらいか
- C 「何かをする」ために集まることにしよう
- A 継続した仕事が難しい。出入り自由で始めよう
- E 協力してもらおう。だと受け身、投げかけて、自主的にやるネタを提供
- D では、ネタを出しましょう
- B ウイステリア広める DVD、衛生士を知ってもらう DVD
コアの中でなんでもしてしまわず、小さな輪をつくって活動することを意志一致
- 子ども健康手帳/ニュースレター/会誌/企画商品/衛生士を知ってもらう DVD/衛生士ニュースレター
- A ニュースレター委員は、1 ページだけ何か、クリエイティブな仕事をしてもらうのがいい
- F ニュースレターをやるなら固定スタッフがいい
- C 当番に 1 ページ書いてもらう

- D ゲラの校正のようなことより、テレビ会議でニュースレターについて小田原評定をするようなことはどうか
- G 企画商品として受付で流すヘルスケア紹介 DVD (パワーポイント) を提案
- H 企画頒布品として「禁煙の木」
- F 日学歯の資料を検討することもテーマにして欲しい
- C 衛生士主体の活動もひとつ
- D 衛生士が行う活動の一つとして衛生士ニュースレター
- C 衛生士独自のコースを企画していきたいという声も

●オピニオンメンバー会議の運営略

■ 7月31日 Web 会議

高木 杉山 藤木 田中 寺田 河野
斉藤 森谷 成田 (秋元)

【報告】

- 1) 高添先生へ御礼を兼ねて訪問 (杉山)
- 2) 24 日に小児歯磨剤座談会行った (杉山)
- 3) デンタル X の改善提案 (森谷)
- 4) ニュースレター進捗状況 (杉山)
- 5) ウイステリア 4.0 販売開始 (藤木)

【議題】

- ・認証ミーティング反省
- ・委員会運営について
- ・コアメンバーの推薦基準、オピニオンメンバー推薦などについて
- ・次回オピニオンメンバー会議に向けて

●認証ミーティング

- ・採点のしにくさ
- B 発表をある程度、画一的にした方がいいのではないか。
- H 弁護士の外部委員も指摘していたが、採点基準に則した論理的な分かりやすいプレゼンが求められる
- C プレゼンは型を決めた方がいい。
- A テンプレートがあるといい
- C テンプレートよりも採点項目だろう
- A そう、採点項目を示したテンプレートだ
- B ペリオとリエスに関しては雛形があった方がいい。どういうふうにするか、リスク管理をしているか、くらいに。
- G ある程度の雛形があった方が、プレゼンをつくる方もつくりやすいと思う
- B N, H 先生の後、個性重視の型に嵌めないということからこうなったが、最低限の項目はつくっておくべきだ
- F スケートのように採点基準を決めて、それ以外は自由ということにしたらい

日本ヘルスケア歯科研究会コアメンバー会議

- B 内容をもう少し細かくしたものの（雛形の雛形）を私が考えますので、意見をください。
- E メンテナンスについて独立した採点項目が欲しい
- C 過去との整合性もなければならぬが、診査表の1や2はまとめて10点でもいい
- A 項目2は要らない。メンテナンスの項目がヘルスケアとしては大切
- E 項目2の医院のプロフィール紹介は1とまとめてよい。メンテナンスを別項とし、10で総括、問題点を出す。
- E 認証の責任者を決めてやらないといけない。
- B 当日の仕切り役か？
- E 全体を見渡す担当者、すなわち反省、改善、
- A 運営の役割分担につながる話ですね、重要な項目なので、責任者を決めたい方がよい
- C 私も責任者が必要だと思う
- A 現実的には、来年7月がいい
- C オピニオンメンバー会議と講演会をセットにするのはいい
- E 更新についても再度きちんと整理すべきだろう
- C 調査1+2提出で決まっている
- B 調査1提出は毎年何月と決まっている？
- E 今年はまだ依頼を出していない

- A 調査1の要請はすでに出したが、認証医院にはまだ出していない。
 - B こういうミスが起こるので、スケジュール管理の役割が必要
 - A 認証をアピールするのも役割に入りますね
 - B 衛生士育成も認証を目指すものだった、そのアピールも必要
 - C 最初は認証とリンクさせたが、現実にはその条件を満たす医院はまだ少ないので、「目指す」という表現にした
 - B 逆に「認定衛生士」としたら、「認証診療所」を目指してね、というようにはならないか
 - C むしろ認証診療所のDHはもっと認定歯科衛生士に、というアピールをしたい
 - B 認定衛生士の医院に認証診療所を目指す雰囲気はない？
 - C あまりない
 - B 認証の管理に関しては私がやります。とりあえず、採点基準見直し案、更新関連スケジュール整理を進めればよろしいですか？
 - B 外部委員に関しては秋元さんに
 - A 外部委員へのプレゼンも作り直した方がいいですね
- 委員会の運営について
- B プロジェクト委員会のA～Fの責任者を決めましょう

- E コアメンバー+オピニオンメンバーを決める
 - ★ 文末表のようにプロジェクト委員会の担当を決定し、後日それぞれメーリングリストを立ち上げた
 - D オピニオンメンバー会議参加者だけでなく、一度オピニオンメンバー全員に呼びかけてからスタートして欲しい
 - A では、アナウンスをします
- コアメンバー会議の推薦基準について
- E 会則の基準、理念理解、認証、二人以上のコア…
 - C そのとおり
 - A 変更する必要はない
 - C コアの推薦基準、定数は8月のコア会議で議論しましょう
- その他の報告
- C 衛生士基礎コース14名定員が埋まった。2名キャンセルまち。検定コース4名。8月ニュースレターでアナウンスします
 - E 秋のシンポジウム外部講師への依頼書面がまだ送られていない人がいる。急いで。
 - C 会員発表の謝礼について確認
 - D 今回は講演会講師謝礼規定どおりで、例外があればご意見ください
 - A 次回オピニオンメンバー会議をどうするかは、継続審議

●プロジェクト委員会名簿 ◎はコアメンバー

- A 日学歯配布冊子「むし歯予防大作戦COってな〜に」について検討するプロジェクト委員会
 - ◎田中正大 渡辺勝
 - 川嶋剛 槍崎慶二
 - 大久保篤 小野義晃
 - 安田直美 藪下雅樹
 - 太田隆温
- B ニュースレター編集をサポートするプロジェクト委員会
 - ◎高木景子 渡辺勝
 - 野村英孝 川嶋剛
 - 丸山和久 太田隆温
- C ウィステリアを広めるための販促（使用例）DVDの作成を進める
 - ◎藤木省三 丸山和久
 - 丸山吉弘 太田隆温

- D 歯科衛生士の仕事の素晴らしさを中学生に広める広報資料（DVDビデオなど）の作成を進めるプロジェクト委員会
 - ◎斉藤仁 渡辺勝
 - 槍崎慶二 大久保篤
 - 岡本昌樹 小野義晃
 - 鈴木正臣 武内義晴
 - 古仙芳樹 丸山吉弘
 - 長山和枝
- E 受付で流すヘルスケア診療を紹介するDVDビデオの作成プロジェクト委員会
 - ◎寺田昌平 渡辺勝
 - 加藤徹 近藤明徳
 - 浪越建男 長山和枝
 - 上田康弘 太田隆温

- F 企画商品（院内感染防止ポリエチレンサックなど）プロジェクト委員会
 - ◎杉山精一 渡辺勝
 - 槍崎慶二 岡本昌樹
 - 小林誠 浪越建男
 - 上田康弘
- G デンタルX（プラネット）の改良をヘルスケアの視点から求めるプロジェクト委員会
 - ◎森谷良行 渡辺勝
 - 川嶋剛

ヘルスケアミーティング 2009

今回のテーマ

「医院からの情報提供」

超豪華副賞！
注目のポスターセッション

普段、診療室で来院者に情報提供をしている工夫を研究会参加者と共有しましょう。待合室の掲示でも、クリアファイルでも、リーフレットでも、ビデオでも、メールマガジンでも、形式*、内容は問いません。提供情報の内容とかたちや媒体の工夫を提示してください。情報提供の情報そのままでも、情報提供とその意図、効果、評価を含むものでも構いません。研究会で情報発信することで、参加者から、また新たな見方がもらえて、明日からの健康を守り育てている診療室にプラスになるでしょう。スタッフみんなで力を合わせてポスターを制作するのも医院力を飛躍させる大きなイベントになるでしょう。

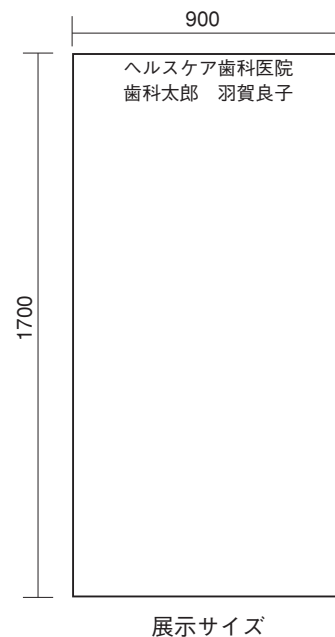
* ただし、ホームページそのままをプリントしたものは受付対象にはなりません。ホームページについては、別途研究会事務局にて会員歯科医院のホームページを検索して、優れたものをプリント掲示するほか、映写展示します。

ポスター発表資格：正会員の所属する歯科診療所 1 医院につき 1 点

ポスターサイズ：ヨコ 900mm × タテ 1700mm 以内 出展医院名、発表者名を、このスペース内に明記してください。

会場掲示：^{ついたて}衝立に画鋏またはセロハンテープで貼って掲示します。ポスターは、幅 900mm のものを 1 枚で出力したものが望ましいですが、A4 あるいは A3 のプリントを貼るための台紙として希望者には模造紙 (788mm × 1085mm 2 枚) を事務局で用意します。物品の展示を伴う場合は、机の用意が必要になりますので、事前にその旨をご連絡ください。

優秀作品選考：ヘルスケアミーティング参加者の投票により最優秀作品を選考します (22 日 12 時 30 分から 23 日 12 時 30 分までに投票)。最多得票ポスター出展者は、23 日午後のセッション開始時に発表し、表彰します。副賞は豪華賞品 (東京ディズニーリゾート、ホテルオークラ東京ベイ ペア宿泊 1 泊付き 1 日ペアフリーチケット) を予定しています。



お申込締切：9 月末日 (先着 42 医院)

事前提出不要。11 月 22 日 12 時 30 分までに直接各医院で会場指定場所に掲示ください。

申し込みは…

今すぐ事務局にファックス (03-3260-4906) もしくはメール (center@healthcare.gr.jp) で。

ヘルスケアミーティング2009

除去・根治、除去・根治、これを「医療」だと勘違いしていませんか?!

歯科の未来はメンテナンスベースの診療室からみえてくる

日時：2009年11月22(日)午後1:00～23日(月・祝)午前10時～午後4:30

会場：川口市民ホール フレンドピア (埼玉県川口市)

□ 11月22日

Part 1 1:00～2:40 p.m.

変えることができるのは、我々しかない
研究会発足の原点…ヘルスケア壮年診療所からの熱い問題提起

座長：藤木省三

プレゼンター：斉藤 仁/田中正大

医療とは「医術で病気を治すこと」と定義されます。
我々歯科の分野はどうでしょうか？ 皆さんは毎日病気の治療をしていますか？
除去、根治、除去、根治…

Part 2 3:00～5:30 p.m.

ヘルスケア型診療を決めるチームの力
繰り返す新人育成の失敗、チームの力がうまく機能しない理由…心に響く実感メッセージ

座長：河野正清

プレゼンター：浜端真知子/井上 和 ほか

歯科診療を「医療」とするための、もっとも大きな残された可能性がここにあります。

懇親会 6:00 p.m.～

ポスター展示 22日 1:00～5:30 p.m.

23日 9:30 a.m.～4:30 p.m.

医院からの情報提供 (担当：寺田昌平)

□ 11月23日

Part 3 10:00 a.m.～12:10 p.m.

メンテナンスの臨床・・・見えていない問題をあぶり出す
メンテナンス中の変化を見逃さない・臨床を診る目を養う

座長：斉藤 仁

プレゼンター：大西歯科 歯科衛生士

大西歯科の歯科衛生士5名と藤木省三のプレゼンテーション

自分のところはできていると思った時点で成長は止まります。満足しないから見えてくる問題を検証。

1:15～1:20 p.m.

ポスター表彰

Part 4 1:20～4:30 p.m.

シンポジウム：ICDAS が拓く新しいう蝕治療マネジメント
歯質保存療法を主役にした治療可能なう蝕病変の判定

モデレーター：杉山精一

予防が予防ではなく治療になる？ 新しいう蝕診断基準 ICDAS は除去・根治・除去・根治の診療を変える有効なツールになる可能性もっています。歯科を変えるのは外にいる誰かではありません。我々自身が声をあげていかなければ決して望むようには変わりません。

趣旨説明 杉山精一 (日本ヘルスケア歯科研究会 コアメンバー)

ICDAS について 豊島義博 (第一生命保険健康管理室)

初期う蝕とは—再石灰化療法について

飯島洋一 (長崎大学助教授 大学院医歯薬学総合研究科)

臨床で ICDAS を使ってみて 杉山精一

う蝕治療ガイドラインについて

桃井保子 (鶴見大学歯学部教授 第一歯科保存学)

学校歯科健診 特に CO について

柘植紳平 (社団法人日本学校歯科医会副会長)

パネルディスカッション

飯島洋一/豊島義博/桃井保子/柘植紳平/杉山精一

座長：斉藤 仁/秋元秀俊

1) どうすれば「初期う蝕の段階で早期発見」できるか

・診療室の役割

・学校歯科健診の役割

2) どのようにして「初期う蝕の早期発見」の重要性を

社会に広めるか

・う蝕治療ガイドライン

除去・根治，除去・根治，これを「医療」と勘違いしていませんか?!

歯科の未来はメンテナンスベースの診療室からみえてくる

2009年 11月 22日(日)・23日(月・祝)

川口市民ホール フレンディア (埼玉県川口市)

埼玉県川口市川口 1-1-1 キュポ・ラ本館棟 4F 048-227-7603 (<http://www.friendia.jp/index.html>)

プログラム (予定)

11月22日

Part1 1:00 ~ 2:40 p.m.

変えることができるのは、我々しかない
研究会発足の原点… ヘルスケア壮年診療所からの熱い問題提起
座長：藤木省三 プレゼンター：斉藤 仁/田中正大

Part2 3:00 ~ 5:30 p.m.

ヘルスケア型診療を決めるチームの力
繰り返す新人育成の失敗，チームの力がうまく機能しない理由…
心に響く実感メッセージ
座長：河野正清 プレゼンター：浜端真知子/井上 和 ほか

11月23日

Part3 10:00 a.m. ~ 12:10 p.m.

メンテナンスの臨床… 見えていない問題をあぶり出す
メンテナンス中の変化を見逃さない・臨床を診る目を養う
座長：斉藤 仁 プレゼンター：大西歯科 歯科衛生士

Part4 1:20 ~ 4:30 p.m.

シンポジウム：ICDAS が拓く新しい歯治療マネジメント
歯質保存療法を主役にした治療可能な歯病変の判定
モデレーター：杉山精一

懇親会 22日 6:00 p.m. ~

ポスター展示 法人展示 (22・23日ロビー)

参加費

	会 員	非会員
歯科医師	12,000 円	15,000 円
その他	5,000 円	7,000 円
学生・院生・研修医	5,000 円	
懇親会	4,000 円	

お知らせ・ご注意

- ・ 2日目のお弁当の用意はありません。各自で午後の開始時間までにお済ませください
- ・ 申込書を送信後1週間を過ぎても計算書と払込用紙が届かない場合は、ご連絡下さい。
- ・ 事前にキャンセルされた場合は、手数料を差し引いた参加費を返金します。但し、10月23日以降のキャンセルは、ご返金できませんので、ご了承ください。

お申し込み・お問い合わせ

下記申込み欄にご記入後、事務局までFAXまたは郵便にてお送りください。

〒112-0014 東京都文京区関口 1-45-15-104 日本ヘルスケア歯科研究会事務局

FAX : 03-3260-4906 TEL : 03-5227-3716

ホームページからもお申し込みいただけます。 <http://www.healthcare.gr.jp/>

携帯電話からはこちらから→



参加申し込み Fax. 03-3260-4906

参加を申し込みます (news12-4)

ヘルスケアミーティング 2009 参加申込み (会員専用)

(必要項目ご記入、該当欄に✓印を記入ください)

フリガナ _____ ご氏名	会員番号: _____	<input type="checkbox"/> 会員歯科医師 : 12,000 円	<input type="checkbox"/> 非会員歯科医師 : 15,000 円
		<input type="checkbox"/> 会員その他 : 5,000 円	<input type="checkbox"/> 非会員その他 : 7,000 円
		<input type="checkbox"/> 学生・研修医 : 5,000 円	<input type="checkbox"/> 懇親会 : 4,000 円
フリガナ _____ ご氏名	会員番号: _____	<input type="checkbox"/> 会員歯科医師 : 12,000 円	<input type="checkbox"/> 非会員歯科医師 : 15,000 円
		<input type="checkbox"/> 会員その他 : 5,000 円	<input type="checkbox"/> 非会員その他 : 7,000 円
		<input type="checkbox"/> 学生・研修医 : 5,000 円	<input type="checkbox"/> 懇親会 : 4,000 円
フリガナ _____ ご氏名	会員番号: _____	<input type="checkbox"/> 会員歯科医師 : 12,000 円	<input type="checkbox"/> 非会員歯科医師 : 15,000 円
		<input type="checkbox"/> 会員その他 : 5,000 円	<input type="checkbox"/> 非会員その他 : 7,000 円
		<input type="checkbox"/> 学生・研修医 : 5,000 円	<input type="checkbox"/> 懇親会 : 4,000 円
勤務先・診療所名 _____	参加申し込み人数 _____ 人	合計金額 _____ 円	
住所 〒 _____	電話番号 _____	FAX 番号 _____	